

08年度の建設投資見通し

2.3%増の50兆5700億円

建設経済研 住宅着工は121万戸

建設経済研究所は22日、08年度の建設投資見通しを発表した。投資額は50兆5700億円で、改正建築基準法の施行後の混乱で着工が低迷した07年度に比べ2.3%増になると予測している。ただ、潤滑は当初の予想より早く収束するとみて、07年度の建設投資実績（見込み値）を49兆4300億円（前年度比5.5%減）と今年1月の予測値（48兆3400億円）から上方修正。その分、08年度の投資額は10億円の比で下方

修正となった。08年度の建設投資見通しは、政府部門は16兆9000億円（前年度比4.3%減）、民間住宅部門は18兆2700億円（同9.4%増）、民間非住宅部門は15兆3100億円（同2.2%増）と見込んだ。国・地方とも公共事業の削減が続く政府部門は投資が減少する一方、民間住宅部門は07年度の落ち込みを回復して大幅な伸びが予測されることだ。08年度の住宅着工数は121万戸（同16.7%増）と予測。内訳は、持ち

家32万戸（同2.8%増）、貸家53万戸（同22.6%増）、分譲34万戸（同3.6%増）と見込まれる。08年度の政府建設投資のうち4〜6月分については、道路特定財源の特定率を3月末で未効した影響を差し引いており、土木を11%減としたが、特定率に復活すれば予算は年度内に消化さ

れると見て、道路特定財源問題による落ち込みは見込まない。07年度の建設投資実績の内訳は、政府部門17兆7500億円（同3.7%減）、民間住宅部門16兆7000億円（同12.6%減）、民間非住宅部門14兆9800億円（同1.6%増）。

建設投資の推移（年度）

年度	90年度	95年度	00年度	03年度	04年度	05年度 (実績見込み)	06年度 (見込み)	07年度 (見込み)	08年度 (見込み)
名目建設投資 (対前年度伸び率)	814,395 11.4%	790,169 0.3%	651,948 -3.4%	537,069 -5.5%	527,766 -1.7%	521,200 -1.2%	522,800 0.3%	494,300 -5.5%	505,700 2.3%
名目政府建設投資 (対前年度伸び率)	257,480 6.0%	351,986 5.8%	299,601 -6.2%	234,697 -9.4%	207,683 -11.5%	195,300 -6.0%	184,300 -5.6%	177,500 -3.7%	169,900 -4.3%
名目民間住宅投資 (対前年度伸び率)	257,217 9.3%	243,129 -5.2%	202,756 -2.2%	179,008 -0.3%	183,748 2.6%	184,300 0.3%	191,000 3.6%	167,000 -12.6%	182,700 9.4%
名目民間非住宅投資 (対前年度伸び率)	299,638 18.4%	195,053 -1.8%	159,591 0.7%	123,363 -4.9%	136,335 10.5%	141,700 3.9%	147,500 4.1%	149,800 1.6%	153,100 2.2%
実質建設投資 (対前年度伸び率)	840,446 7.6%	777,268 0.2%	661,947 -3.6%	548,316 -6.1%	532,812 -2.8%	520,300 -2.3%	511,700 -1.7%	475,700 -7.0%	480,100 0.9%

（単位：億円、実質値は2000年度価格）

※06年度まで国土交通省「平成19年度建設投資見通し」による。
※民間非住宅建設投資＝民間非住宅建設投資＋民間土木投資